



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 湯浅宗一

編集者 佐々木由紀子

小原 伸之

白波瀬浩幸

〒602-8155 TEL・FAX 075-821-6711

京都市上京区千本竹屋町主税町 910

(京都保健衛生専門学校内)

CONTENTS

INTRODUCTION	平成 18 年度 JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術コースについて
GREETING	新年のご挨拶
REPORT	第 11 回 近畿輸血検査研修会
REPORT	第 8 回 新入・転入会員研修会
REPORT	「これからの日本の医療・保健・福祉を考える」集い
SCHEDULE	行事予定
PROCEEDINGS	理事会議事録 (第 5 回、第 6 回)

平成 18 年度 JICA 仏語圏アフリカ臨床検査技術コースについて

国際協力機構 (JICA) では、2006 年度から仏語圏西アフリカの臨床検査技師を日本の医療機関での研修に招くことになり、近畿臨床検査技師会がその研修協力機関として受け入れ、京臨技も協力することとなりました。

臨床検査技術コース開催の背景には、西アフリカで依然として多発するさまざまな感染症と高い乳児死亡率があります。JICA では、日本の支援の一つとして臨床検査技術 (とくに細菌感染症) の向上を目標に、2006 年度は、8 月 21 日～12 月 4 日、セネガル、ニジェール、ブルキナファソ、マリ、ギニア、ベニンの 6 カ国から合計 12 名の臨床検査技師を招き、近畿臨床検査技師会の協力を得て実地訓練を実施することとなりました。

京臨技では、10 月 25 日に洛西浄化センター、奈良県立医科大学の見学同行、10 月 30 日から 11 月 24 日まで京都府立医科大学附属病院で実習受け入れなどの協力を行いました。この事業は 5 年間継続して実施される予定であるため、来年度以降も会員のみなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



JICA 西アフリカ研修生との交流会参加 (京都保健衛生専門学校臨床検査学科 2 年生学生 17 名参加)



社団法人京都府臨床検査技師会 会長 湯浅 宗一

会員の皆さん、あけましておめでとうございます。

昨年は、京臨技活動に際し、ご協力、ご指導下さいまして有り難うございました。

さて、昨年 5 月より会長を務めさせていただき、今日までの主な取り組みについて申し上げます。

まず 1 点目は京臨技の念願であった事務所が確保できたことです。事務所確保については京臨技総会で承認を得てはありましたが、具体的な物件になると買い取りなのか賃貸なのかについて何度も理事会で審議した結果、当面は賃貸で事務所を確保することとしました。場所は川端丸太町東北の角にあり、立地条件は申し分ありません。会員の皆様是非一度お立ち寄り下さい。

2 点目は京臨技会員の増員についてです。最初の理事会で会員数 1000 名を目標とすることをお願いいたしました。現在はもう少しで目標到達というところまでできております。今後も組織率のアップにつながる事業を継続して行う必要があると思っています。実際に京都で働く臨床検査技師数の正確な数の把握に努めることも必要かと考えております。

3 点目は休眠状態であった臨床化学研究班活動の再開です。理事を中心にした活動ではありますが、何とか臨床化学研究班を再興し、継続した事業が行えるように努力しております。

4 点目は第 17 回北部学術発表会が終了したことです。この発表会は、京都市内で開催されることの多い各種の研修会に地理的から参加できない会員が多い中、北部での学術面での向上を目指して開催されたと聞いております。この発表会が 17 回にわたって開催されていることの意義は大きいと思います。今後も是非継続して開催していただきたく思います。

5 点目は JICA による仏語圏アフリカ臨床検査技術コースが無事終了したことです。近畿臨床検査技師会がこの研修の受け皿となり、特に京都では府立医大が病院実習病院として受けましたが、大阪大学医学部保健学科での講義、実習をはじめ、いろいろなところで近畿全ての会員に協力をいただき無事終了いたしました。この研修を通じて外国での医療状況の把握、外国への技術の移転ができれば本来の目的が果たせたものと思います。この事業は今後 5 年間継続されます。

6 点目は近畿学会が昨年に引き続いて臨床検査医学会と同日開催されたことです。この事業は、臨床検査医学会と同日に開催することによって参加者数の増加、研究発表の充実が見込まれることから始まったものですが、今後も継続されます。そのうち京都が担当となりますがその際には十分に準備をして、学会に臨んでいただきたく思っております。

その他にもいろいろとありましたが、各々の事業について各理事が一生懸命努力しております。

最後になりましたが、2007 年が京臨技の飛躍になりますよう、理事一同努力いたしますので、会員の皆様には京臨技の諸事業にご協力をよろしくお願いいたします。京臨技に対する意見、要望等がありましたらいつでも京臨技事務所まで御連絡下さいますようお願いいたします。

第11回 近畿輸血検査研修会

REPORT

研修会報告

京都南病院 相田 幸雄

日 時：2006 年 9 月 9 日～10 日

場 所：京都大学医学部総合解剖センター（9 日）

ホリディ・イン京都（10 日）

< 9 日 >

実技講習会

1. 複合抗体の同定
2. 直接抗グロブリン試験陽性検体の精査

< 10 日 >

パネルディスカッション

- 1 マイクロタイピングシステムの原理と特性
オリンパス株式会社ダイアグノスティックシステム
ズ国内営業部 輸血学術担当
柿沼 幸利 先生
- 2 輸血検査に関わる保険点数について
兵庫医科大学病院 輸血部
池本 純子 先生
- 3 新生児における輸血療法の特色
京都大学医学部附属病院NICU医長
河井 昌彦 先生
- 4 人の多型性から学ぶ - 血液型・HLAを中心に
HLA 研究所長
佐治 博夫 先生

今回の一泊研修会を開催するまでは大変な道程で、もともと予約していたホテルが 8 月で営業終了会場が確保できないというハプニングが発生。なんとかホテルは見つかりましたが、多気班長以下役員全員冷や汗ものでした。

今回の実技講習会は「複合抗体同定」と「直接抗グロブリン試験陽性検体の精査」を行いました。いわゆる「血液型」「不規則抗体スクリーニング」「交差適合試験」「直接抗グロブリン試験」「DT 解離試験」です。

ちなみに、検体については一人から採取できることが望ましいですが、そうでない場合は、いくつかの検体を期待する凝集の強さになるように混ぜ合わせます。今回は二つの検体を混ぜて調製します。「なまもの」なのであらかじめ調製して保存することが難しく、なんとか 3 日前に参加者全員検出することができるだろうというくらいの凝集が出るように調製ができました。

さて、当日、京都大学医学部附属総合解剖センターでの実技講習会には 80 名以上が参加し、検体も予定通りの反応で何とか無事に終わりました。

夕方からはホリディ・イン京都に会場を移し懇親会が終わり、少しお酒も入ったところでナイトセミナーが始まります。内容は「今後の輸血部におけるアルブミン製剤の管理について」と「酵素法は必要か?」というテーマで二部屋に分かれ話が進みました。ここでは普段なかなか話せないような、技師の代行入力や副作用調査といった問題についても話ができました。

翌 10 日のパネルディスカッションは総勢 130 名を超える参加者があり、会場が満席となり、主催者側としては喜ぶべき結果でした。

パネルディスカッションでは検査法の原理から臨床現場の話や、これからの検査技師としての考え方や職場での活躍について幅広く話をさせていただきました。

準備など問題などもありましたが、終わって振り返ってみれば成功したと思います。

京臨技事務所として、京阪丸太町駅近くの賃貸物件と契約

平成 18 年 11 月 30 日、京阪丸太町駅近くの貸事務所と正式に契約が終了し、自前の京臨技事務所を開設する運びとなりました。

今後、必要備品を整えるなどの準備を行い、2 月から業務開始とする予定です。

第8回 新入・転入会員研修会

洛和会音羽病院 若栗 昌枝



日時：平成 18 年 9 月 8 日（金）

会場：京都教育文化センター

白波瀬副会長の挨拶で第 8 回新入・転入研修会が始まった。はじめに林理事より京都府臨床検査技師会の組織について説明があった。次に、荻野学術部長より、学術部の活動について説明があり活発な技師会活動と呼びかけた。

講演はパッチギ（ラジオディレクター）のモデルとしても有名な川村輝夫氏に「ディレクター - 12 箇条」というタイトルで講演して頂いた。

「ディレクター - 12 箇条」

- 1、「これなら誰にも負けないもの」を身につける
- 2、好奇心をなくさない
- 3、音楽に精通する ~ライブやコンサ - トは月 2 回以上~
- 4、映画は年間 100 本以上
- 5、本は 1 週間に 3 冊以上
- 6、芝居・演劇は月 1 回以上
- 7、あらゆる人脈を増やせ
- 8、機会を逃さず旅行せよ
- 9、書くことを苦にしない
- 10、常に自分を客観的に見よ
- 11、自分自信の意見をはっきり言え
- 12、自分で決断する

これらの言葉は、技師の仕事に当てはめる事ができる。新入・転入会員だけでなくベテラン会員も技師としてのありかたを考えさせられた。

研修会の後半は、懇親会をかねてグル - プ対抗クイズグランプリを行った。今年度はクイズ数を減らし、より新入会員・ベテランの親睦を深められたと思う。クイズ中には研究班長より研究班活動について紹介も行った。

今年で 8 回目となる研修会は、新入会員の参加者が例年以上に多かった。今後も技師会活動にどんどん参加して頂きたい。

また、マンネリ化しつつあるクイズグランプリや、入会検討中の新入・転入会員研修会参加への対応など、来年度に向けて検討したい。



REPORT

事業部報告

「これからの日本の医療・保健・福祉を考える」集い

京都第二赤十字病院 芦田 英之

平成 18 年 10 月 14 日（土）京都みやこメッセにおいて、京都府医療推進協議会の主催で医療・福祉関係 24 団体・企業 2 社の参加で、「これからの日本の医療・保健・福祉を考える」集い『こんなに変わる医療・保健・福祉～あなたの健康危機！秋の陣』として開催されました。当日は約 1,500 名もの府市民が来場し、盛況のうちに無事終了しました。

京都府臨床検査技師会としては、昨年に続き 2 回目の参加になりました。今年度は「臨床検査技師のしごと」のスライドを、開催時間中は流していました。また、パンフレットを配布しながら臨床検査技師の知名度向上につながるように、湯浅会長、広瀬理事、佐々木理事、芦田が市民の方に説明をしていました。（黄色のジャンパー着用）

イベントとしては、「眼精疲労度検査」を実施しました。この検査はアンチ・エイジングとして取り入れられている施設も増えてきています。株式会社ワックの協力を得て、平松部長、鈴木次長、藤田主任が市民の方々に、又、参加している団体の人に対して検査を実施され、丁寧に説明をして頂きました。例年の如く、京臨技のブースは評判が高く、並んで待つて頂きました。9 月に開催された「暮らしと健康展」でも人気を博していました。このようなイベントを開催するに当たり、理事・会員からの情報が的確に反映された結果だと思えます。

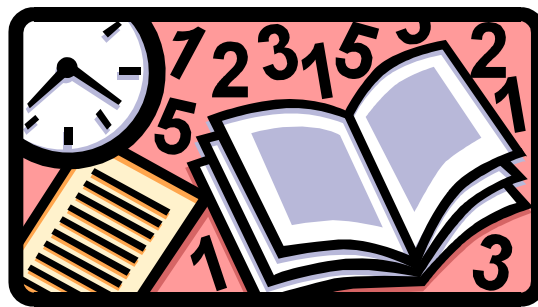
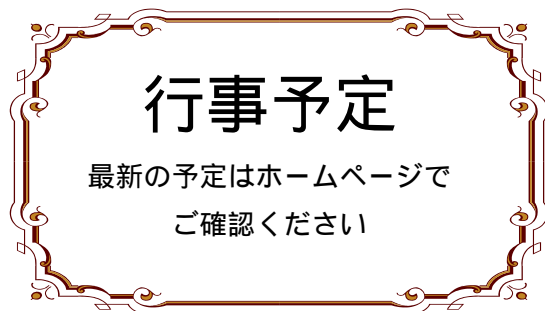
当日は、京都放送（KBS）ラジオでの生放送も同時進行でした。各ブースに桂 都丸さんや、アナウンサーの方が来られ、実況放送もあり・・・いつ、京臨技のブースに来られるのかな～？と期待と不安がありました。来られませんでした。

今後、公益法人化に向けての活動としても、京臨技だけの活動は限界があります。府民・市民の方々と一緒に医療・保健・福祉を考えていく上でも、他団体との連携や行政との関係が大事になっていく事と思いました。京臨技事務局部長の小澤さんには前日の準備搬入、終了後の荷物搬送で無理をいいました。京臨技会員の皆様、どうぞ、来年も足を運んで下さいね。



京都府医療推進協議会構成団体

京都私立病院協会、京都市老人福祉施設協議会、京都腎臓病患者協議会、京都精神病院協会、京都難病団体連絡協議会、京都府医師会、京都府医師婦人会、京都府栄養士会、京都府介護支援専門員協議会、京都府看護協会、京都府言語聴覚士会、京都府作業療法士会、京都府食生活改善推進員連絡協議会、京都府歯科医師会、京都府歯科衛生士会、京都府鍼灸師会、京都府鍼灸マッサージ師会、京都府柔道整復師会、京都府病院協会、京都府病院薬剤師会、京都府放射線技師会、京都府訪問看護ステーション協議会、京都府母子寡婦福祉連合会、京都府薬剤師会、京都府理学療法士会、京都府臨床検査技師会、京都府臨床工学技士会、京都府老人クラブ連合会、京都府老人福祉施設協議会、日本医療法人協会京都府支部、認知症の人と家族の会京都府支部（五十音順：計 31 団体）



微生物分野【研修会】06-046

日時：2007 年 01 月 12 日（金）19:00～20:30
 会場：ハートピア京都
 座長：小野 保 技師（京都第二赤十字病院）
 主題：平成 18 年度 京臨技 精度管理結果報告
 講師：丹羽 紀実 技師（京都大学医学部附属病院）
 主題：細菌の同定と同定キットについて
 講師：相楽 弘文 氏（日水製薬株式会社 マーケティング部）

生理分野【講演会】06-039

日時：平成 19 年 01 月 13 日（土）15:00～17:00
 会場：京都府立医科大学基礎医学学舎 1 階第 1 講義室
 座長：鮎川 宏之 技師（医仁会武田総合病院）
 主題：頸動脈・椎骨動脈の超音波検査の実際
 講師：斉藤 こずえ 医師（奈良県立医科大学神経内科）
 共催：京都循環器検査研究会

血液分野【講演会】06-037

日時：平成 19 年 01 月 20 日（土）14:00～17:00
 会場：キャンパスプラザ京都
 座長：志賀 修一 技師（京都大学医学部附属病院）
 主題：精度管理報告、Case Study3
 講師：由木 洋一 技師（京都府立医科大学病院）
 講師：奥野 昌三 技師（京都第二赤十字病院）
 講師：平川 正基 技師（京都第二赤十字病院）
 主題：骨髄異形成症候群 - 最近の話題
 講師：通山 薫 氏（川崎医科大学検査診断学・同附属病院中央検査部）
 協賛：シスメックス株式会社

北部（臨床化学）分野【研修会】06-043

日時：平成 19 年 01 月 25 日（木）18:45～20:00
 会場：舞鶴市西駅交流センター第二会議室
 座長：四方 学 技師（綾部市立病院）
 主題：血液ガスの基礎と精度管理
 講師：柳澤 仁志 氏（ラジオメーター株式会社）
 後援：ラジオメーター株式会社

情報システム分野【実技講習会】06-042

日時：平成 19 年 01 月 27 日（土）15:00～17:00
 会場：京都大学医学部保健学科端末室
 座長：増田 健太 技師（京都大学医学部附属病院）
 主題：タッチタイピング入門
 講師：増田 健太 技師（京都大学医学部附属病院）

臨床化学分野【研修会】06-044

日時：平成 19 年 01 月 30 日（火）18:30～20:30
 会場：京都保健衛生専門学校 視聴覚教室
 座長：清井 健司 技師（京都民医連第二中央病院）
 主題：イムノアッセイの基礎とその変革（化学発光法にいたるまで）
 講師：金子 正和 氏（アボットジャパン株式会社）
 協賛：アボットジャパン株式会社

一般検査分野【研修会】06-045

日時：2007 年 02 月 17 日（土）13:30～16:00
 会場：ビル葆光 龍池 B
 座長：古市 佳也 技師（京都市立病院）
 主題：尿中有形成分分析装置 UF-1000 i について
 講師：宮尾 雅美 氏（シスメックス株式会社 大阪支店学術情報課）
 主題：尿沈渣と尿細胞診が連携するために
 講師：大崎 博之 技師（香川県立保健医療大学保健医療学部臨床検査学科）
 後援：シスメックス株式会社

血液分野【実技講習会】06-047

日時：2007 年 03 月 03 日（土）9:00～17:00
 会場：京都大学医学部保健学科実習室
 座長：志賀 修一 技師（京都大学医学部附属病院）
 主題：実践血液形態講座（楽しく形態検査を学ぼう 2）
 <事前予約制>
 講師：血液研究班班員

平成 18 年度第 5 回定例理事会議事録

日 時：平成 18 年 10 月 10 日（木）18：30～20：30
 場 所：京都保健衛生専門学校大会議室
 司 会：芦田
 出席顧問：田畑
 出席理事：湯浅、芦田、白波瀬、小澤、荻野、石澤、江見、丹羽、白井、今田、豊山、小原、大田、廣瀬、佐々木、若栗、林（孝）
 委任状による出席理事 湯浅、芦田、荻野、豊山
 欠席理事：林（雅）今井
 出席監事 清井
 欠席監事：山口
 出席事務局員：山方

【報告事項】

1. 会長行動報告

- 日臨技関係
- ・09月23日(土) 近畿地区連絡会議 於：近畿大学会館
近臨技関係
- ・09月23日(土) 近畿理事会 於：近畿大学会館
- ・09月24日(日) 奈良県法人化 20 周年、創立 50 周年記念式典
於：奈良ホテル
- ・10月08日(日) 「仏語圏アフリカ臨床検査技術コース」
中間評価会 於：JICA 大阪
今年 8 月末 JICA 研修生が来日、10 月 01 日より阪大保健学科にて実習
10 月末より病院実習、この間近畿学会・自動化学会に参加。
京臨技関係
- ・10月05日(木) 三役会議 於：京都保健衛生専門学校
一般法人、公益法人法の改革に関する報告

2. 近畿臨床検査技師会理事会報告

- ・同時開催：近畿地区連絡協議会、各部会
日時・場所：09月23日・近畿大学会館
出席理事：湯浅、今井、芦田、荻野、小澤
近臨技理事会報告：来年平成 19 年近畿学会大阪で開催され、その準備状況の報告があった。
- 第 47 回近畿医学検査学会と第 49 回日本臨床検査学会近畿支部総会との同時開催となる。大阪では学会準備を進めており、例年 12 月に学会シンポジストの打合せ会を開いているが、今回、大阪では既にシンポジストを決定済み。
- 賛否はあったが大阪は準備をかなり進めているので、福井学会の時に近畿の学術部長への報告も兼ね近畿学術部会を開催する。12 月にはシンポジストだけの打合せ会を開催予定。
- 近畿地区連絡協議会：日臨技に対する質問・要望
和歌山県技師会が取り組んでいたアジア研修事業は昨年近臨技に移管されている。日臨技会長よりアジア研修事業は近臨技、和歌山県技師会からでていた意向を取り入れ日臨技事業として進めていきたいとの説明があり、実際に取り組んだ和歌山県・近臨技からも委員を選出しこの事業を進めていく予定になっている。

法人化の問題：(一般法人・公益法人) 法人法の改革が控えており、公益法人は事業の約 6 割～8 割を府民の為の事業を成すよう改正される。一般法人は税金の問題もあり、公益法人化の取り組みが出来るよう今後活動の準備をする。

日臨技も現在は会員のための事業を実施しているが、今後の事業計画として公益法人化を目指した事業にも取り組んでいく予定。

渉法部会報告

- ・講演会
平成 19 年 04 月 7 日（土）14：30～17：00（場所：ホテルグリーンプラザ大阪）
「演題 1：生活習慣病健診義務化に向けて（仮題）」
「演題 2：検査相談室のうごき（仮題）」
- ・チーム医療推進委員会
平成 18 年 10 月 22 日(土) 18：00～21：30（場所：福井学会会場）研修会（参加者 40 名位）
テーマ 感染対策、NST、糖尿病療養指導について、
・日臨技主催研修会

平成 19 年 2 月 11 日、12 日（場所：常盤短期大学）
近臨技のチーム医療推進委員会が中心になり、誰でも出来るチーム医療実践研修会を開催。
医学学会雑誌 11 月号、12 月号に参加申込案内が掲載。

2. 各理事・事業部報告

- 佐々木（編集）理事
・09 月 20 日：京都府・京都市の衛生検査所精度管理調査の打ち合わせ。
・今年度は、昨年度廻れなかった京都府下、南部、城陽の方を廻る。
- 小澤（事務局）理事
・10 月 07 日：JICA 西アフリカ研修生との交流会参加。
・京都保健衛生専門学校臨床検査学科 2 年生学生 17 名参加
・10 月 13 日京都府医療推進協議会イベント会場準備、10 月 14 日は後片付け
- 事務報告
・会員への定期資料 1009 通発送
・生涯教育履修通知発送済み
江見（会計）理事
・10/03 現在の会員数は 932 名（新・再入会 71 名含む）
小原（事業）理事
・09 月 17 日・18 日・くらしと健康展
参加者：心電図 800 名・血糖検査 1250 名・眼の疲労度検査 460 名、次年度は感染予防のため手袋と救急絆創膏の用意を
石澤（精度管理）理事
・精度管理参加施設：91 施設 10 月 24 日 9 時からサンプルの準備
白波瀬副会長
・近々会報発行予定
・アンケート調査の御礼状と調査報告を全国技師会へ送付。
荻野（学術）理事
・臨床化学研究班活動の再開について検討中

【検討議題】

- (ア) 京都府医療推進協議会主催イベント出務者の旅費交通費について（承認）
・くらしと健康展執務者に準じて交通費を支払う
- (イ) 京臨技事務所の件について（継続）
・全国技師会に出した事務所運営に関するアンケート調査集計の報告
・事務所の確保は年間 150 万円位の予算で運用可能な賃貸物件を探す
・第 3 回事務所検討委員会を開き討議結果を次回理事会で報告
- (ウ) まいこネットについて（継続）
・電子カルテなど患者の医療情報を病院間で共有できる“まいこネット”の説明会報告を次回の理事会で受けた後、京臨技としての“まいこネット”へのかかわりを審議する。
- (エ) リンクスの件（継続）
・保険会社へ保険料の見直しを依頼中、保険料が出てから再度審議する。
- (オ) 12 月理事会について（承認）
・北部にて第 7 回理事会開催
・日時：平成 18 年 12 月 10 日(日) 午前中

【確認事項】

- 近畿医学検査学会参加確認
・福井学会参加予定者：近臨技理事担当（湯浅・今井・芦田・荻野・小澤）
・京臨技理事・監事（清井・林孝・若栗・今田）

次回理事会開催予定

平成 18 年 11 月 09 日（木）18:30～ 京都保健衛生専門学校

以上で本日の理事会を終了

議事録署名人 江見 安一
白井 孝夫

平成 18 年度第 6 回定例理事会議事録

日 時：平成 18 年 11 月 09 日（木） 18：30～20：30
 場 所：京都保健衛生専門学校大会議室
 司 会：白波瀬
 出席顧問：田畑
 出席理事：湯浅、芦田、白波瀬、今井、小澤、荻野、石澤、江見、丹羽、今田、小原、大田、廣瀬、佐々木、若栗、林（孝）
 委任状出席理事 豊山、白井
 欠席理事：林（雅）
 欠席監事：清井 山口
 出席事務局員：山方

【報告事項】

1. 会長行動報告

日臨技関係
 特になし
 近臨技関係
 ・10月21,22日：近畿医学検査学会(於フェニックス・プラザ：福井)
 ・10月22日(日)：近臨技理事会
 ・10月25日(水)：JICA 研修生施設見学同行 洛西浄化センター、奈良県立医科大学(同行者：芦田英之、今井秀一、荻野和太、瀬田正憲、入野保、湯浅)
 ・11月02日(木)：事務所下見実施：湯浅、田畑、芦田、江見、山方
 ・11月04日(土)：呼吸機能検査研修会-第13回琵琶湖セミナー挨拶(於ホテル琵琶湖プラザ)

2. 各理事・事業部報告

今井理事
 ・2月理事会北部開催について・・・参加確認
 白波瀬理事
 ・京臨技会報(No.16)発行
 ・基礎微生物検査の講義への講師派遣
 芦田理事
 ・09月14日～17日：27th IFBLS 2006-KAMT Congress 出席
 ・10月14日：京都府医療推進協議会主催「これからの日本の医療・保健・福祉を考える」集い京都みやこメッセ出席
 ・10月21～22日：第46回近畿医学検査学会、第3回近畿理事会出席
 ・10月26日：仏語圏アフリカ臨床検査技術コースにおける見学研修参加
 荻野理事
 ・第56回日本医学検査学会(宮崎)の一般演題座長候補推薦
 ・血清分野/小寺、血液分野/林美知子、生理分野/山田氏3名の候補者を推薦
 ・11月28日(火)：臨床化学の学術研究会を保健衛生にて開催『栄養アセスメント蛋白の有用性とNSTについて』
 研修会終了後、今後の活動内容についてミニアンケートを検討
 石澤理事
 ・精度管理事業報告
 10月24日：サンプル発送準備(於 京都保健衛生)
 10月26日：各施設へサンプル配布終了
 11月10日：回答締め切り
 平成19年1月初旬に結果を発送

小澤理事

・会員への定期資料1009通発送
 ・11月11日：AED講習開催予定 京都保健衛生 9:10-13:10
 講師：日本赤十字京都府支部

江見理事

・11月6日現在の会員数：936名(新・再入会77名)
 ・10月：932名(新・再入会71名)
 林孝俊理事
 ・会報JAMITIS9月号掲載の履修状況についての確認
 ・日臨技履修終了者は3年間で京都府が最下位
 丹羽理事
 ・まいこネットについての報告

【検討議題】

(ア) 京都府医療推進協議会分担金支払いについて (承認)
 ・分担金5万円：既に承認済み事項につき報告のみ
 (イ) 暮らしと健康展・京都府医療推進協議会のイベントに参加会員のJAMTISでの生涯教育登録について (継続)
 ・イベント参加会員を生涯教育登録とするか検討していく
 (ウ) 事務所確保について (承認)
 ・京阪丸太町駅傍の賃貸物件について交渉することを確認した
 (エ) 会員への定期発送について (継続)
 ・行事予定表・会報発送費用等の経費削減を検討していく
 (オ) 生涯教育研修修了者3%(31/892)全国最下位の対応について (承認)
 ・京臨技未修了者の分析を行う
 ・宣伝・広告・啓発の手立ての検討を行う
 ・全国最下位の実態および履修A・B・Cの内容を会報で広報し会員の意識を高めていく。
 (カ) リンクスについて (継続)
 ・平成19年1月より日臨技が理事の保険加入を決定したことより京臨技としては他の委員のリンクス加入について検討していくことになった。
 (キ) 医療データの地域連携システム“まいこネット”について (継続)
 ・NPOまいこネットの団体正会員(入会金5万円・年会費10万円)になるかについては検討していく

【その他の報告事項】

日臨技より：飲酒運転禁止通達
 医療マネジメント学会開催 平成19年02月03日
 社会保険病院：京滋学会より 演題提出の要請
 和歌山技師会より案内：第7回医療セミナーイン和歌山
 平成18年11月25日開催
 『ペットからひき起こされる・感染症について』
 日臨技より：医学検査の投稿論文募集 11/1 依頼あり
 医学検査誌が来年より新掲載になり、記念号の掲載論文募集締め切り11月20日

次回理事会開催予定

平成18年12月10日(日)10:00～ 福知山市 ホテル新都

以上で本日の理事会を終了

議事録署名人 江見 安一
 丹羽 紀実